

## 1.6 1のn乗根

## 問題

44 複素数  $\frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2}}i$  を  $r(\cos \theta + i \sin \theta)$  ( $r > 0, 0 \leq \theta < 2\pi$ ) の形で表すと  $r = \square$ ,  $\theta = \square$  となる。また,  $\frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2}}i$  を  $m$  乗して 1 になるような最小の自然数  $m$  は  $\square$  である。(近畿大)

45  $\theta = \frac{2}{7}\pi$ ,  $\alpha = \cos \theta + i \sin \theta$ ,  $\beta = \alpha + \alpha^2 + \alpha^4$  のとき, 以下の問いに答えよ。

(1)  $\bar{\alpha} = \alpha^6$  を示せ。

(2)  $\beta + \bar{\beta}$ ,  $\beta\bar{\beta}$  を求めよ。

(3)  $\sin \theta + \sin 2\theta + \sin 4\theta$  を求めよ。(小樽商科大)

46 16 乗して 1 になる複素数は全部で 16 個あり, それらは

$$\cos \frac{2\pi \times k}{16} + i \sin \frac{2\pi \times k}{16} \quad (k = 0, 1, \dots, 15)$$

と表される。このうち 16 乗して初めて 1 となる複素数の個数を  $n$  とし, それらを  $z_1, z_2, \dots, z_n$  とすると

$$n = \square,$$

$$z_1 + z_2 + \dots + z_n = \square,$$

$$z_1 z_2 \cdots z_n = \square,$$

$$(1 - z_1)(1 - z_2) \cdots (1 - z_n) = \square$$

である。(近畿大)

## チェック・チェック

**44** 極形式で表された複素数  $r(\cos \theta + i \sin \theta)$  が  $m$  乗して 1 になる条件は

$$\{r(\cos \theta + i \sin \theta)\}^m = 1$$

$$\therefore r^m(\cos m\theta + i \sin m\theta) = \cos 2n\pi + i \sin 2n\pi \quad (n \text{ は整数})$$

両辺の絶対値と偏角を比較して

$$r = 1 \text{ かつ } m\theta = 2n\pi$$

が成り立つことです。

**45** (1)  $\theta = \frac{2}{7}\pi$  ですから、 $7\theta = 2\pi$  であり

$$\alpha^7 = (\cos \theta + i \sin \theta)^7 = \cos 7\theta + i \sin 7\theta = 1$$

$\alpha \neq 1$  なので、 $\alpha$  は 1 の虚数 7 乗根の 1 つです。

(2)  $\alpha^7 - 1 = (\alpha - 1)(\alpha^6 + \alpha^5 + \alpha^4 + \alpha^3 + \alpha^2 + \alpha + 1)$  を使います。

(3)  $\sin \theta + \sin 2\theta + \sin 4\theta$  は  $\beta = \alpha + \alpha^2 + \alpha^4$  の虚部です。

$\beta$  の値を求めることを考えましょう。(2) がヒントになっています。

**46** 1 の  $n$  乗根 ( $z^n = 1$  の解) のうち、 $n$  乗して初めて 1 になるものを、1 の原始  $n$  乗根といいます。

1 の  $n$  乗根は

$$\cos \frac{2\pi \times k}{n} + i \sin \frac{2\pi \times k}{n} \quad (k = 0, 1, \dots, n-1)$$

として  $n$  個ありますが、このうち原始  $n$  乗根となるのは

**$k$  と  $n$  が互いに素**

となるときです。

## 解答・解説

## 44 極形式で表すと

$$\frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2}}i = \cos \frac{\pi}{4} + i \sin \frac{\pi}{4} \quad \therefore \underline{r = 1}, \quad \underline{\theta = \frac{\pi}{4}}$$

また  $\left(\frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{2}}i\right)^m = 1$  より

$$\cos\left(\frac{\pi}{4} \times m\right) + i \sin\left(\frac{\pi}{4} \times m\right) = \cos 2n\pi + i \sin 2n\pi \quad (n \text{ は整数})$$

したがって

$$\frac{\pi}{4} \times m = 2n\pi \quad \therefore m = 8n$$

これをみたす最小の自然数  $m$  は 8 である。

45 (1)  $7\theta = 2\pi$  であり, **ド・モアブルの定理**より

$$\begin{aligned} \alpha^6 &= (\cos \theta + i \sin \theta)^6 \\ &= \cos 6\theta + i \sin 6\theta = \cos(7\theta - \theta) + i \sin(7\theta - \theta) \\ &= \cos(2\pi - \theta) + i \sin(2\pi - \theta) = \cos \theta - i \sin \theta \\ &= \bar{\alpha} \end{aligned}$$

(証終)

(2)  $\alpha^7 = \cos 7\theta + i \sin 7\theta = \cos 2\pi + i \sin 2\pi = 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$  より

$$\alpha^7 - 1 = 0$$

$$\therefore (\alpha - 1)(\alpha^6 + \alpha^5 + \alpha^4 + \alpha^3 + \alpha^2 + \alpha + 1) = 0$$

$\alpha \neq 1$  より

$$\alpha^6 + \alpha^5 + \alpha^4 + \alpha^3 + \alpha^2 + \alpha + 1 = 0 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

また, (1) より

$$\begin{aligned} \bar{\beta} &= \bar{\alpha} + (\bar{\alpha})^2 + (\bar{\alpha})^4 = \alpha^6 + \alpha^{12} + \alpha^{24} = \alpha^6 + \alpha^7 \cdot \alpha^5 + (\alpha^7)^3 \cdot \alpha^3 \\ &= \alpha^6 + \alpha^5 + \alpha^3 \quad (\because \textcircled{1}) \end{aligned}$$

したがって,  $\textcircled{2}$ より

$$\beta + \bar{\beta} = (\alpha + \alpha^2 + \alpha^4) + (\alpha^6 + \alpha^5 + \alpha^3) = \underline{-1}$$

であり

$$\begin{aligned} \beta\bar{\beta} &= (\alpha + \alpha^2 + \alpha^4)(\alpha^3 + \alpha^5 + \alpha^6) \\ &= \alpha^4 + \alpha^5 + \alpha^6 + 3\alpha^7 + \alpha^8 + \alpha^9 + \alpha^{10} \\ &= \alpha^4 + \alpha^5 + \alpha^6 + 3 + \alpha + \alpha^2 + \alpha^3 \quad (\because \textcircled{1}) \\ &= 3 + (-1) \quad (\because \textcircled{2}) \\ &= \underline{2} \end{aligned}$$

(3) (2) より  $\beta, \bar{\beta}$  は 2 次方程式  $x^2 + x + 2 = 0$  の解であり、これを解くと

$$\beta = \frac{-1 \pm \sqrt{7}i}{2} = -\frac{1}{2} \pm \frac{\sqrt{7}}{2}i$$

また、**ド・モアブルの定理**より

$$\begin{aligned} \beta &= \alpha + \alpha^2 + \alpha^4 \\ &= (\cos \theta + i \sin \theta) + (\cos 2\theta + i \sin 2\theta) + (\cos 4\theta + i \sin 4\theta) \\ &= \cos \theta + \cos 2\theta + \cos 4\theta + i(\sin \theta + \sin 2\theta + \sin 4\theta) \end{aligned}$$

$\beta$  の虚部を比較して

$$\sin \theta + \sin 2\theta + \sin 4\theta = \pm \frac{\sqrt{7}}{2} \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

ところで

$$\begin{aligned} &\sin \theta + \sin 2\theta + \sin 4\theta \\ &= \sin \theta + \sin 2\theta + 2 \sin 2\theta \cos 2\theta \\ &= \sin \theta + \sin 2\theta(1 + 2 \cos 2\theta) \end{aligned}$$

ここで、 $2\theta = \frac{4}{7}\pi$  であり、 $\frac{\pi}{2} < \frac{4}{7}\pi < \frac{2}{3}\pi$  より

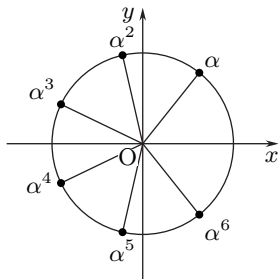
$$-\frac{1}{2} < \cos 2\theta < 0 \quad \therefore 0 < 1 + 2 \cos 2\theta < 1$$

これと  $\sin \theta > 0$ ,  $\sin 2\theta > 0$  より

$$\sin \theta + \sin 2\theta + \sin 4\theta > 0$$

であるから、 $\textcircled{3}$ より

$$\sin \theta + \sin 2\theta + \sin 4\theta = \frac{\sqrt{7}}{2}$$



**46**  $\cos \frac{2\pi \times k}{16} + i \sin \frac{2\pi \times k}{16}$  のうち、**16 乗して初めて 1 になるのは**、

$k$  ( $0 \leq k \leq 15$ ) と **16 とが互いに素のとき**であり、このような  $k$  の値は

$$k = 1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15$$

したがって、求める複素数の個数  $n$  は **8** である。

また

$$z^{16} = 1 \quad \therefore (z^8 + 1)(z^8 - 1) = 0$$

において、 $z^8 - 1 = 0$  の解は 8 乗して 1 になるから、16 乗して初めて 1 となる 8 個の複素数  $z_1, z_2, \dots, z_8$  は  $z^8 + 1 = 0$  の解である。したがって

$$z^8 + 1 = (z - z_1)(z - z_2) \cdots (z - z_8) \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

が成り立つ。 $\textcircled{1}$ の右辺を展開したときの  $z^7$  の係数と定数項を、左辺の  $z^7$  の係数と定数項と比較して

$$z_1 + z_2 + \cdots + z_8 = \mathbf{0}, \quad z_1 z_2 \cdots z_8 = \mathbf{1}$$

また、 $\textcircled{1}$ の両辺に  $z = 1$  を代入すると

$$(1 - z_1)(1 - z_2) \cdots (1 - z_8) = 1^8 + 1 = \mathbf{2}$$